

同 昭和49年持留小卒業生 窓会の代わりに桜を植樹

4月25日(日)、今年還暦を迎える持留小学校の卒業生が、カワツザクラを植樹しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった同窓会の代わりに、卒業生で寄付を募り、桜を購入しました。当日は、卒業生46名中11名が参加し、持留地区農業構造改善センターに8本、四季の森に22本植えました。今後、桜の管理に毎月1回集まる予定とのことです。

実行委員の徳永浩一こういちさんは「還暦祝いは一生に一度なので、コロナ禍でもできることを考えました。コロナが収束したら、同窓生で集まり桜を見たいです」と話されました。



リ 大崎中ボランティア部が大崎町へ サイクル益金を寄付

4月21日(水)、大崎中学校ボランティア部が、リサイクル商品を『おおさきチャレンジ朝市』で販売し、得られた収益金の8,050円を町に寄付しました。

ボランティア部は、キャリア教育の一環で、そのリサイクルセンターから衣類、漫画本、陶器類などを預かり、生徒のみで値段を決め、3月14日(日)の朝市で販売体験をしました。

部長の白坂美弥みひろさんは「初めてだったので緊張したけど楽しかったです。寄付金はみんなに役立つように使ってほしいです」と話されました。

寄付金は、リサイクル未来創生奨学金制度に活用されます。



読 絵本の世界に飛び込もう み聞かせを通して交流

5月16日(日)、マルおおさき(旧おおさきマルシェ)において、NPO法人このはな主催による『本の世界を冒険!探検!』と題したイベントが行われました。

このイベントは、子どもや保護者と地域の方々との交流を目的に行われています。

参加者は、絵本の読み聞かせを楽しんだ後、こぐま社出版の『しろくまちゃんのほっとけーき』を再現したホットケーキを作り、絵本の世界に飛び込みました。子どもたちは思い思いのホットケーキを作り、おいしさを堪能している様子でした。

代表の川畑千明ちあきさんは「地域の方にも気軽に来てほしいです」と話されました。

